

The background features a central light blue organic shape. To its left is an orange shape with a white dotted pattern. To its right is a yellow shape with a white dotted pattern. Above the central shape is a white shape with a black dotted pattern. The bottom left has an orange shape with a white dotted pattern. The bottom right has a white shape with a black dotted pattern. There are also several small white circles and wavy lines scattered throughout the design.

令和 6 年度

すくわくプログラム活動報告書 『マーク』

（実施対象：2～5 歳児）

ひなたの丘保育園

テーマ

マーク

設定理由

絵本や玩具に記載された、バーコードやプラマークに興味を持ち、様々な場所でマーク探しをしていた。また、それぞれのマークの意味に関心を持つようになったため。

活動のねらい

マークへの興味を通して、探求心を育む。

対象クラス

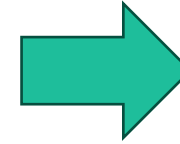
2歳児/12名 3歳児/13名 4歳児/7名 5歳児/11名

スケジュール

令和6年4月～令和7年3月



ここに、
マークがあるよ！



見つけたマークを
本にしてみたよ！

あちこちにマークを発見！

- 絵本や玩具の箱のバーコードの存在に気づき、マークを見つける度に友だちに報告し合う姿があり、園舎内や、散歩の道中などの地域の中でもマーク探しを楽しめる機会を設けていった。
- 家庭で見つけたマークを写真に撮って持参し、みんなに報告したYくんから、『この写真をみんながいつでも見られるように図鑑にしたい』と提案があり、オリジナルの“マークのずかん”を作成する。

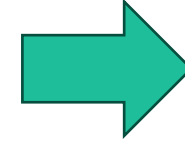
活動のために準備した
素材や道具・環境設定

子どもたちの育ち

- それぞれが見つけたマークを印刷して掲示した、コーナーを設置・ファイル
- 見つけたマークを友だちや保育士に共有しようとする姿がある。
- 家庭でもマークを見つけたという報告が上がる中で、家庭で見つけたマークを写真に撮り、それを図鑑にするという共有方法を考えている。



保育園の体温計にも
同じマークがあるんだ…



調べたことはお集まりで報告

- たくさんのマークを集める中で、『このマークどういう意味?』と、マークの名称やマークが示す意味に関心を持つ姿が増えたため、マークの図鑑を用意した。集めたマークの意味を調べたり、図鑑を見る中で改めて認識した身近な物にまつわるマークの探求が深まる。
- マークかるたで遊ぶ中で新たなマークを覚え、読み札からその意味を知る。
- それぞれの発見は、お集まりの中で発表し、共有している。

環境のために準備した
素材や道具・環境設定

子どもたちの育ち

- マーク＆標識の図鑑・マーク＆標識かるた・発見を共有する時間
- 疑問に思ったことは、調べることが習慣となり、園内の図鑑や、図書館、保護者に聞くなど、手段も少しずつ増えている。
- 図鑑で得た知識を、実際に自分の目で確かめている。
- かるたなどのゲームや、お集まりでの発表を通して、マークに興味を持つ子どもが増えている。



ここは工事中の
標識を置かないと！

マークを使った街を作ろう！

- ・レゴブロックで作った車や家を使って遊ぶ中で、『ここは工事中、通れませんマークだよ』と覚えた標識の話をしながら遊ぶ姿があり、レゴブロックと手作りのマークを使った街づくりが始まった。
- ・街づくりに必要な標識や、お気に入りのマークを書き写した作品を掲示していくと、それぞれのマークの意味をクイズのように聞き合う姿があり、手作りのマークをめくるとその意味が書いてあるという仕掛けクイズを保育士と一緒に作る。

環境のために準備した
素材や道具・環境構成

- ・マーク＆標識の図鑑・紙類・筆記具・テープ類・ストロー・粘土・机・ラティス
- ・レゴブロック・空き箱・街づくりができるコーナーを設置

子どもたちの育ち

- ・マークの知識が深まる中で、それを遊びに活かそうとする姿が見られるようになる。
- ・マークの特徴を掴み、書き写すために細部まで観察したり、慎重に描いたりする。
- ・街づくりを通して、自分が思い描くイメージを友だちと共有し、協力しながら作っている。

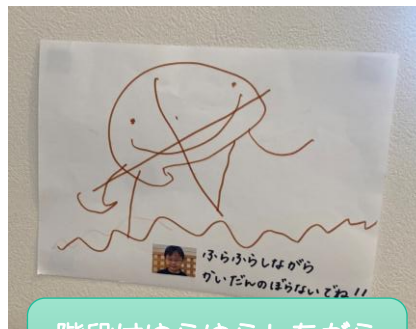
めくるとマークの意味が分かるよ！



これは何の
マークかな？

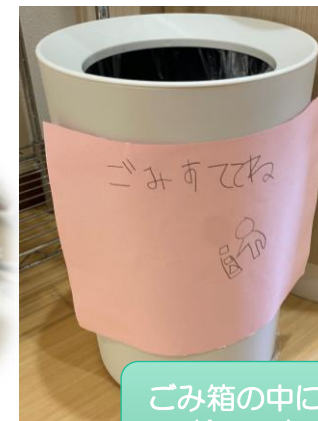
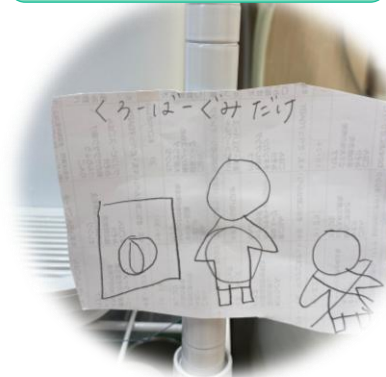


とまれマークがあれば
ぶつからないね！



階段はゆらゆらしながら
上らないでねマーク

浄水器の操作は
5歳児だけだよマーク



ごみ箱の中にしっかり
捨ててねマーク

- 園のエレベーターにはエレベーターマークがついていないことに気づき、自分たちでマークを作成した。それをきっかけに、『走ってぶつかりそうになるから、ここに止まれマークつける？』と、マークを活用し始める。
- 『階段でふらふらして危ない子がいたからマークで教えてあげる！』と、園生活に必要であると感じた場面のマークを考え、各所に掲示するようになった。

環境のために準備した
素材や道具・環境構成

子どもたちの育ち

- マーク＆標識の図鑑・紙類・筆記具・ひらがな表
- マークが必要だと感じたものを共有する時間
- マークを生活に取り入れ、どのような場面・場所に、どのようなマークがあると、自分だけでなく、園で生活するみんなが安心して過ごせるか考えている。
- 伝えたい思いが伝わる絵を考えたり、文字を書こうとしたりと、思いを表現する手段が増えている。

全体の振り返り

日常の中で感じたさりげない疑問や発見を、友だちだけでなく保育士や保護者も共感し、一緒になってマーク探しを楽しむことで、探求が深まり、興味が広がっていくきっかけになったように思う。興味に応じて、物的環境を整えるのはもちろんのこと、それぞれの気づきを共有する場を設けたり、それを視覚的に認識できるようなコーナー作りをすることで、子どもたちが主体的に情報を集め、知識の獲得へと繋がった。また、マークの意味を知識として得る中で、マークは生活に必要なことを知らせるものであることに気づき、自分たちの遊びや生活の場に、様々な方法で取り入れる姿が見られ、思考力の芽生えを感じる。得た知識を活用し、自分なりの方法で表現して伝えていく姿に、自分の考えを発信していく力、自信がついたことを感じる。